

施策評価シート

施策等名称	豊かな自然を活かし環境に配慮した災害に強いまちづくりの推進	体系番号	0401010602
		主管課	建設課

1 施策基本情報

現状と課題	<p>将来、発生が予想される地震や豪雨災害に備え、住宅や各種施設の耐震改修や、被害が予想される箇所の整備を進め、安心して生活できる環境づくりを推進することが必要である。</p> <p>道路のほか施設等が老朽化しており、早急な対策が必要となっています。さらに、集中豪雨に対する河川整備や雨水管渠の整備なども進めて行く必要があります。</p> <p>市民が安全・安心に暮らせるよう美しく豊かな自然環境と調和したまちづくりを推進する必要がある。</p>
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	<p>美しい自然環境を活かした、快適で安らぎのあるまちづくりを目指すため、人に優しい道路や、河川、公園等の整備、上下水道の安定供給、公共下水道の整備を推進していきます。</p> <p>自然と調和した美しい景観づくりに加え、自然環境に配慮したまちづくりを進めるとともに、にぎわいのある中心市街地の再生、災害に強い安全・安心に暮らせるまちづくりの実現を目指す。</p>

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値
	①	主要橋梁の長寿命化修繕数	累計橋梁数(累計橋数)	15.00	25.00
②	上水道管の耐震改修化率	全体に占める割合(%)	9.40	17.00	
③	旧耐震設計の木造住宅数	旧耐震設計の木造住宅数(戸)	81.30	90.00	

施策の柱 1	名称	豊かな自然を活かし環境に配慮した災害に強いまちづくりの推進		主管課	建設課		
	詳細	<p>美しい自然環境を活かした、快適で安らぎのあるまちづくりを目指すため、人に優しい道路や、河川、公園等の整備、上下水道の安定供給、公共下水道の整備を推進していきます。</p> <p>自然と調和した美しい景観づくりに加え、自然環境に配慮したまちづくりを進めるとともに、にぎわいのある中心市街地の再生、災害に強い安全・安心に暮らせるまちづくりの実現を目指す。</p>					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1	主要橋梁の長寿命化修繕数	累計橋梁数(累計橋数)	15.00	25.00	1 道路パトロール	実施
	2	上水道管の耐震改修化率	全体に占める割合(%)	9.40	17.00	2 橋梁修繕事業	実施
	3	旧耐震設計の木造住宅数	旧耐震設計の木造住宅数(戸)	81.30	90.00	3 老朽管更新事業	実施

基本政策間連携

施策の体系	施策の柱 2	名称			主管課		
		詳細					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1					1	
	2					2	
	3					3	

基本政策間連携

施策の体系	施策の柱 3	名称			主管課		
		詳細					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1					1	
	2					2	
	3					3	

基本政策間連携

施策等名称	豊かな自然を活かし環境に配慮した災害に強いまちづくりの推進	体系番号	0401010602
		主管課	建設課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
施策	主要橋梁の長寿命化修繕数	15.00	16.00				
1		25.00	64.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	宮川橋が終了。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
施策	上水道管の耐震改修化率	9.40	11.00				
2		17.20	63.95	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	北大塩中区配水池築造と合わせた米沢地区の基幹管路整備及び市内既設管布設替により耐震化が進んだ。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
施策	旧耐震設計の木造住宅数	81.30	84.14				
3		90.00	93.49	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱1	主要橋梁の長寿命化修繕数	15.00	16.00				
1		25.00	64.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱1	上水道管の耐震改修化率	9.40	11.00				
2		17.20	63.95	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱1	旧耐震設計の木造住宅数	81.30	84.14				
3		90.00	93.49	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						

施策等名称	豊かな自然を活かし環境に配慮した災害に強いまちづくりの推進	体系番号	0401010602		
		主管課	建設課		

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年(前年度比)		2019年(前年度比)		2020年(前年度比)		2021年(前年度比)		2022年(前年度比)	
投資額	事業費(円)	848,667,615		941,132,000	1.11						
	うち一財(円)	384,169,615		302,100,000	0.79						
	増減理由 (一般財源前年度比±10%以上の場合に記載)										
進捗評価		順調									
総合評価	主な取組内容や成果	<p>①今年度に5ヶ年かけて行ってきた504橋の橋梁点検が終了した。②北大塩中区配水池～埴原田配水池への送水管工事、中央病院への送水管工事を実施。 ・北大塩中区配水池築造工事を実施。 ③耐震診断、耐震改修申請に対する補助。広報・啓発</p>									
	課題	<p>①計画を見直す必要がある。レベル3以上(修繕が必要)の橋梁が47橋ある中、橋梁修繕費の確保が難し。②全管を整備するには年数が必要であり、今後は法定耐用年数を超える管路が増える傾向にある。③より効果的な周知・啓発 ・区・自治会レベルでの集落懇談会実施</p>									
改革・改善	改革・改善内容	<p>①今後、レベル3からレベル2(経過観察)まで修繕し、長寿命化を図っていききたい。②他事業との計画を整合することで、よりコスト縮減を図り事業費をおさえていく必要がある。③耐震対象者に対し、戸別訪問の代わりにDM発送。 ・重点地区(ちの・宮川・金沢)での集落懇談会実施</p>									
	重点化する施策の柱										
	理由	<p>①インフラ整備を行い、安全性の確保、満足度の向上へ繋げていきたい。②上水道施設の耐震化を進め、災害に備えた安定供給の確保を図る必要がある。</p>									

作成担当者	湯田坂幹雄				
最終評価責任者	篠原尚一				
最終評価年月日	2019年5月31日				